

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科・糖尿病では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2024年2月～2027年11月の間に、肥満症のために虎の門病院内分泌代謝科・糖尿病に入院・通院し、セマグルチド皮下注射(ウゴービ®)による治療を受けられた方

【研究課題名】

セマグルチド 2.4 mg による肥満症治療における初期体重減少速度と長期減量効果の関連

【研究の目的・背景】

《目的》

本研究の目的は、肥満症に対してセマグルチド皮下注射を行った日本人患者において、治療初期の体重減少速度が長期的な体重減少効果に与える影響を後ろ向きに検討することである。特に、治療費が高額であることや処方可能な施設が限られる中で、初期体重変化などの予測指標を明らかにし、治療の継続判断や個別化治療に資する知見の獲得を目指す。

《研究に至る背景》

近年、肥満症は国内外で増加傾向にあり、特に糖尿病や心血管疾患など多くの合併症のリスクとなるため、治療介入が求められる疾患であると位置付けられている。肥満症に対する治療法は、食事療法や運動療法といった生活習慣の改善に加え、薬物療法、さらには必要に応じて手術療法（減量・代謝手術）など多岐にわたる。中でも薬物療法は非侵襲的であり、近年新たに登場したGLP-1受容体作動薬は中枢作用を介した強力な食欲抑制効果を有し、治療選択肢として大きな注目を集めている。

セマグルチドの週1回皮下注射による肥満症の治療は非常に有効な治療であることが臨床試験で裏付けられているが、一方で体重減少効果には大きなばらつきが認められる。

【研究期間】

2025年6月20日 ～ 2028年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌

等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究終了後 3 年間保管いたします。

保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、薬歴、食行動問診票

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：内分泌代謝科 糖尿病・代謝部門 部長 森 保道

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当無し

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2028 年 2 月 29 日

までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 糖尿病・代謝部門 部長 森 保道

電話 03-3588-1111(代表)